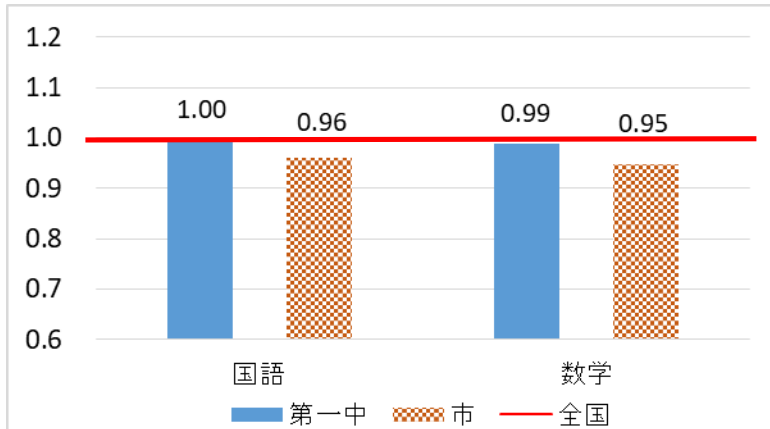


## 令和3年度 全国学力・学習状況調査について

第一中学校区 第一中学校

第3学年

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



○調査結果についての分析、今後の改善方策

### 【国語】

「話すこと・聞くこと」領域では、「質問の意図を捉える」ことはできているが、「会話の内容を踏まえて自分の考えを持つこと」に課題がある。「書くこと」領域では、「書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える」問題は全国平均を上回る結果であった。今後も、「話すこと・書くこと」を意識した言語活動を取り入れた学習活動の取組を、各教科で進めていく。

### 【数学】

「数学的な技能」の計算、一元一次方程式をつくること、表やグラフの読み取りや、「数学的な見方や考え方」の問題では、全国値を上回った。一方で、図形や関数領域に課題が見られたため、この領域の強化を意識した指導を行っていく。

### 【質問紙調査】

「家で自分で計画を立てて勉強している」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「自分の思いや感じていること言葉で表現できる」の質問に肯定的に回答した生徒の割合が高く、進んで学習に取り組む姿勢や話し合う活動への意欲がうかがわれる。これは、学校全体で授業や行事を通して、互いの良さを認め合う場面を設定してきた結果だと考える。今後も生徒の主体性を育てる教育活動に取り組んでいく。

○学力向上の取組

### 【中学校区】

第一中学校区「街の学校スクールネットワーク」として、「授業改善」をテーマに授業力向上のための「聴いて、考えて、つなげる」授業の授業実践に取り組んでいる。具体的には発達段階に応じた「あたたかい聴き方」と「やさしい話し方」のスキルアップを目標にしており、「ノート指導」を中心にした「書く力」の育成にも努めている。

### 【学校】

昨年度から学校全体でポジティブ行動支援（PBS）の研修を重ね、校内では「PUT1」と名付けて生活・学習の様々な場面で自己肯定感の醸成につながるフィードバックに取り組んでいる。他の考えを受け止める一方で、自分の考えをしっかりと述べる場面設定を心がけ、表現力育成に努めていく。また、自学自習力・自己管理能力の育成に向け、ふり返り手帳（フォーサイト）を活用し、指導を行っている。